

第16回けん玉道関西グランプリ 2018

大会要項 rev.01

- 1、目的：平成30年度の新学年となり、関西けん玉界を占う大会として位置づけ「全日本けん玉道選手権大会」に向けて、けん玉の技術向上とともに、精神力を鍛え、個々の課題を明確にする。
- 2、日時：2018年4月22日（日）午前9時開場、9時30分受付、10時開会式
- 3、会場：高槻市立芥川小学校 体育館
住所：大阪府高槻市真上町1丁目2-3
アクセス：JR高槻駅より徒歩約8分（車での来場はできません）
注意：会場へ直接問い合わせをしないでください。
- 4、主催：日本けん玉協会関西ブロック
- 5、参加資格と部門：関西地区（2府4県）在住であること
Aクラス 中学生以上で認定段位弐段以上の者
※優勝者には「第40回全日本けん玉道選手権大会」の関西シード権が与えられる
Bクラス 小学生以上で認定段位弐段以上の者
日本けん玉協会認定段位を持たないものについては、事前に実力検査を行い、二段以上の実力を認めた場合、大会に参加できる
ただし、既に第40回全日本けん玉道選手権大会のシード権を得ている者は参加することができない
- 6、参加費：Aクラス 1人1000円、Bクラス 1人500円
- 7、持ち物：日本けん玉協会認定のけん玉、筆記用具、上履き、昼食、飲み物
- 8、試合
《けん玉検査》
 - ・競技開始前に審判員による使用けん玉の検査を行う。けん玉検査で不合格になった場合に備え、予備のけん玉を準備しておくこと。
 - ・使用けん玉は、日本けん玉協会公認けん玉
 - ・使用するけん玉は、できるだけ「新品の品質」を保持しなければならない。
 - ・けん玉識別のための記名などは、必要最小限の大きさとし、明らかに試技の目印となる場所にしてはならない。
 - ・ワレ、カケ、キズ、ハガレ等、使用けん玉の競技に「影響するか、しないか」の判定に当たっては、審判団の協議により決定する。従って、選手は自分で用意したけん玉の使用が認められない場合を想定して、常に予備のけん玉を用意しておくことが要求される。
《予選・得点制競技》
 - ・大会選技①～⑫の12種目を2回ずつ行う。
 - ・各試技1回目の成功につき、1点とする（合計24点満点）
 - ・各選手の試技は、審判が「成功」及び「失敗」を判定した瞬間に完了する。
 - ・各試技は審判の「はじめ」のコールを聞いてから15秒以内に開始し「時間です」のコール（「はじめ」から40秒）までに技を完了しなければ「失敗」とする。
 - ・「はじめ」のコールの前に試技を行った場合、その試技は失敗とする。
 - ・「時間です」のコールと、審判の判定が同時であった場合、審判の判定を優先とする。

- ・「時間です」のコールは、全員の試技が40秒以内に完了した場合は行わない。
- ・試技が別の選手の試技により妨害された場合は、やり直しを求めることができる。
(拳手により、主審・副審・大会スタッフに合図し、審議により再度試技は出来る。)
- ・同点の場合は、以下の方法に基づいて順位を決定する。
 - (1) 12種目の1回目の合計得点の高い人が上位とする。
 - (2) 1回目も同点の場合はサドンデスを行う。技の順番は審判がくじを引いて決定する。サドンデスは一順を限度とし、決着しない場合はタイム競技を行なう。
- ・予選得点順に各部門上位8位(1位～8位)が、決勝トーナメントに進出する。
- ・敗者復活戦は行わない。

《決勝・トーナメント戦》

- ・決勝トーナメントの組み合わせは、予選の順位により、決定する。
- ・先攻後攻については、トーナメント表の左側の選手が先攻とする。
- ・選技は、各クラス規定の①～⑫の種目からくじ引きで決める。
- ・主審の「はじめ」のコール後15秒以内に試技を開始し、40秒以内に試技を完了すること。
- ・試技及び、タイム競技において、主審の「はじめ」のコールの前に試技を開始した場合は、その試技は無効として注意が与えられる。その選手が2度目の注意を受けた場合は、その時点でその試技は失敗とする。3度目以降も同様。回数は決勝トーナメント中、累積する。
- ・1回戦と準決勝、3位決定戦について、4本勝負(2本先取勝ち)
- ・決勝戦については、6本勝負(3本先取勝ち)
- ・各試合、規定の本数で同点となった場合は、Aクラスは「全日本タイム競技2015」、Bクラスは「タイム競技B」で勝負を決める。

《けん玉道関西グランプリ2018 Aクラス 大会選技》

- ①二回転飛行機
- ②つるし一回転飛行機～はねけん
- ③回転うぐいすの谷渡り
- ④うずしお灯台～さか落とし
- ⑤一回転すくいけん
- ⑥ふりけん～一回転けんフリップ地球まわし
- ⑦二回転灯台～一回転さか落とし
- ⑧宇宙遊泳一回転飛行機
- ⑨極意わたり
- ⑩円月殺法(空中のちかえ)一回転灯台
- ⑪変動種目 「掛け軸ふりけん」
- ⑫変動種目 「大皿～ジャグリングとめけん」

全日本タイム競技2015

- ①ろうそく返し ②前ふりうぐいす～回転けん ③ヨーロッパー一周～地球まわし
- ④円月殺法 ⑤宇宙遊泳 ⑥つるし一回転灯台～さか落とし

変動種目について

⑪掛け軸ふりけん

【持ち方】掛け軸の持ち方

ただし指は湾曲させてはならない。けんは必ず人差し指に掛けること。指で皿胴をにぎったり押さえたりはさんだりして固定しないこと。

【技の動作】

一方の手で掛け軸の持ち方（指は湾曲させない）でけんを持ち、他方の手でつり下げた玉を持って手前に引き寄せ構える。玉を放して玉を前に振り出し、けんを手前に動かして玉を引き空中で玉を手前に1回転させ、掛け軸の持ち方（指は湾曲させない）を維持したまま玉の穴にけん先を入れる。

【注意事項】

- ・玉の穴にけん先が完全に入ること。
- ・手で玉を持って体を一旦静止させて構えている場合、玉を振り出すために、膝を曲げ伸ばす動きや、体でリズムをとるなどの予備動作を行った時点で技が開始されたと見なす。
- ・手で玉を押さえずに一旦体を静止させて構えている場合、玉を前後に振るなどの予備動作を始めた時点で技が開始されたと見なす。
- ・技を開始した後に、再び手で玉を押さえるなど、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやり直したと見なす。
- ・技の開始から主審の「成功」の合図（発声、挙手）まで、けんが手から離れないこと（けんが手から浮かないこと）。
- ・技の開始から主審の「成功」の合図（発声、挙手）まで、けんを持つ手の親指が玉や皿胴に触れないこと。
- ・けんを持つ手の指が不自然に湾曲するなど、皿胴をにぎったりはさんだりしてけんを固定したと見なされる場合は失敗とする。

※「掛け軸の持ち方」

- ・親指を除く4指を合わせ（必ずしも4指を密着させる必要はない。また、合わせた4指を湾曲しても良い）、けん先を上にしてけんを手の甲側にし、大皿皿胴下を人差し指の親指側の側面に掛ける。（「掛け軸ふりけん」においては4指を湾曲させないこと）
- ・けんを掛ける位置は、人差し指の先端から親指の付け根の間であればどの位置でもよい。ただし、親指は皿胴に触れてはならない。

⑫大皿～ジャグリングとめけん（ルール概要は以下のとおりで、協会審判部に確認済みです。正式規定が発表になり次第、文章の差替えを行います）

- ・最後に玉突き刺しにならないこと
- ・ジャグリングの際のけんの回転方向回数は問わない（いわゆるゴーストになってもよい）
- ・最後に玉をけんで刺すときも、玉の回転方向回数は問わない（うら回転でも2回転地球回しでも無回転でもよい）
- ・最後は皿胴をつかんではない

《けん玉道関西グランプリ2018 Bクラス 大会選技》

- ①二回転飛行機
- ②つるし一回転飛行機～はねけん
- ③うぐいすの谷渡り
- ④つるし一回転灯台～とんぼ返り
- ⑤宇宙一周～地球まわし
- ⑥ろうそく返し
- ⑦二回転灯台
- ⑧宇宙遊泳
- ⑨すべり止め極意
- ⑩円月殺法
- ⑪けん先表裏すべり
- ⑫灯台～けん

タイム競技B

- ① 前ふりろうそく
- ② 県一周
- ③ 日本一周2回連続
- ④ 世界一周2回連続
- ⑤ ヨーロッパ一周
- ⑥ 地球まわし
- ⑦ うぐいす～けん
- ⑧ はねけん
- ⑨ 一回転飛行機
- ⑩ さか落とし

9、表 彰

- ・各部門 「優勝」「準優勝」「第3位」

10、連絡先

- ・この大会に関する質問、お問い合わせは
日本けん玉協会 関西ブロック 事務局
奥野 睦夫（電話：090-9119-9608）（E-mail：alpacakendama@gmail.com）
- ・会場に関する質問、お問い合わせは
日本けん玉協会 関西ブロック 競技委員
西田 満（電話：090-1950-2432）